

平成 29 年 11 月総務企画委員会 議事概要

H29. 11. 22 作成

日 時：平成 29 年 11 月 21 日（火） 18：00～19：30

会 場：建築士会会議室

出 席：

（業務執行理事兼委員長）芝 京子 （副委員長）山成 芳直

（委 員）天神 正志、伊藤 誠一、長田 喜樹、沼田 有二、八重野みどり、畠 宏好

オブザーバー：須藤専務理事

<確認事項>

1 前回(10/17)議事録の確認【資料 1】

- ・異議なく了承

<協議事項>

1 平成 30 年賀詞交歓会について【資料 2】

- ・担当委員から企画案の前回からの修正点を説明。新規合格者は 1/18 の賀詞交歓会時点で免許証取得手続きが完了している者は少なく、士会入会者も多くはないはずなので、「お試し会員」の招待のほか、H29 年 1 月以降の新入会員も呼びかけ対象としてはどうかと提案。
- ・また、当日の役割分担としては、司会進行を委員長、受付 3～4 名、単独参加の新会員・賛助会員のアテンドに注力等を提案。

（質疑）

（専務理事）・ 2 級については県知事免許のため番号付与も含めた申請手続きは迅速。また、「1/17 までに免許申請すれば 2/25 のセミナー・交付式で免許受領が可能」とのアナウンスを今年も行う予定。新規合格者に対し、セミナー・交付式だけではなく賀詞交歓会への参加を呼びかける際に、こうした情報も重ねて提供できれば、入会につながる可能性が出てくる。

（委員）・お試し会員等の招待者に対して、参加費を免除することはどのように明示？

（専務理事）・賀詞交歓会への参加呼びかけ文に、その旨を明記。

（委員長）・司会進行は私に一任で支障ないのか？ 過去には複数の女性役員が交代で務めた例もあるが。

（一同）・総務企画委員会主体で運営するため、委員長一任でお願いしたい。

（委員）・5 月の総会の受付を担当しコソを飲み込めたので、今回の受付事務もお引き受けしたい。

2 平成 29 年度新規合格者入会案内について【資料 3】

- ・担当委員から、12. 11～1. 13 の間の曜日・時間帯別案内活動分担表のフォーマットを説明。対応可能な日時を申告していただくよう、要請。

(質疑)

(専務理事)・休日受付日は、今年の 1.7 に対して今回は H30.1.13 と 1 週遅れ。1.8 の総合資格合格祝賀会における宣伝後、若干の間があくので留意願う。

3 その他

- ・前回委員会で紹介した日弁連アンケート(4号特例の廃止)について、技術支援委員会で議論した結果、3名の委員からコメントが寄せられたので回覧。総務企画委員会でも、次回委員会でこれを参考に議論する予定とした。

<報告事項>

- 1 「小規模非住宅建築物の省エネルギー性能に係る実態調査」について【資料4】
 - ・専務理事より、連合会経由で国交省からアンケートへの協力要請があり、本県士会でも、ホームページの行政からのお知らせ欄で告知済みとの報告。

(質疑)

(委員)・アンケート発出の背景として、国交省は、すべての建築物に対する省エネ基準の適用を目指しているが、過重な規制との反発も出ている。それに対応するため、実態調査でデータを集めるものではないか。

- ・ただ、一般の設計事務所の皆さんに、どこまで省エネ基準そのものへの関心や理解が進んでいるかは、心許ない状態ではないか。

(委員)・住宅すべてに適用するのは相当に困難。とりあえず非住宅への全面適用を目指しているのではないか。

2 その他

(1) 次年度事業について(賛助会小委員会)【資料5】

- ・副委員長より、来年度秋に予定している「横浜港」をテーマとした賛助会講習会の企画案を説明。
- ・関係委員の紹介を得て、横浜市港湾局政策調整部に話を伺ったところ、今後の横浜港、ひいては地域のあり方に影響する様々なプロジェクト、たとえば新本牧埠頭埋立事業が始動したこと、それらが地元の建築界に意外と知られていないことを痛感。このテーマも士会講習会テーマにふさわしいと思うとのコメント。

(質疑)

(委員)・民間側から見ても、横浜港の今後への注目度は高い。ベイブリッジを通過できない大型船への対策を含めた港湾機能の再編(*大型船の大黒埠頭寄港から本牧埠頭A突堤接岸、山下埠頭地区の再開発等)や、国道357号の延伸によるコンテナ街道問題の解消など、見逃せないテーマも多々。弊社も協力したい。

- ・なお、過日のグローバルBIM社の講演会には、皆様の協力をいただき感謝。

(副委員長)・BIMといえ、公共建築協会の研究会で最近刊行したBIM本(*主として建築設計者のためのBIMガイドー建築保全センター等刊)を入手した

が、興味深い内容。士会の図書室で閲覧してもらってもよさそうだ。

(2) 今後の検討課題について【資料6】

- ・専務理事と担当委員から、活動交流会の今後及び委員会における委員選出のあり方を、今後の検討課題としてはと提案（特に青年委員会で活躍した会員の45歳定年退任後の処遇について）

(質疑)

(委員)・この10月末で退任した元委員は、青年委員会でも活発に活動した人ばかり。惜しい人材。

(副委員長)・支部でも人材を求めているので、声をかけさせてもらっている。

(専務理事)・さしあたり12.11からの入会案内活動に参加してくれるとありがたい。合格者にとっても、年齢の近い会員からの勧誘の方がなじみやすいはず。

(委員)・私は教育講習委員会に所属していたが、総務企画委員会への転出に伴い、後任者には職場から新たに参加してもらった。

<その他>

次回以降の委員会等について

平成29年 11月22日(水) 第360回理事会 15:00~17:00

平成29年 12月19日(火) 12月委員会 18:00~ (終了後忘年会)

平成30年 1月18日(木) 賀詞交歓会 18:00~

平成30年 1月23日(火) 1月委員会 18:00~